

## 住宅宿泊事業法施行条例に係る意見調査（集計）

## 1 調査時点

令和 3 年 6 月 30 日（水）

## 2 調査対象

|   | 照会先   | 対象件数  | 回答件数 | （割合）     |
|---|---|-------|------|----------|
| 1 | 関係団体<br>(1) 岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合<br>(2) (公財) 岩手県観光協会<br>(3) 岩手県警察本部生活安全部生活環境課<br>(4) 各消防本部（12 団体） | 15 件  | 13 件 | (86.7%)  |
| 2 | 県内市町村関係課<br>(1) 市町村教育委員会事務局（33 件）<br>(2) 市町村児童福祉主管課（33 件）<br>(3) 市町村環境主管課（33 件）               | 99 件  | 63 件 | (63.6%)  |
| 3 | 住宅宿泊事業者（制限区域内の事業者）  | 8 件   | 3 件  | (37.5%)  |
| 4 | 県庁関係課<br>(1) 観光・プロモーション室<br>(2) 農業振興課   | 2 件   | 2 件  | (100.0%) |
|   | 合計  | 124 件 | 81 件 | (65.3%)  |

## 3 調査方法

調査対象団体等に対し、調査票を郵送又はメールにて照会、回収した。

## 4 調査事項について

岩手県環境審議会住宅宿泊事業特別部会（令和 3 年 2 月 5 日開催）の結果を踏まえ、以下のⅠ～Ⅲの項目について調査を行った。

|   | 項目                               | 現在の規定（制限）  | 規定制定時の考え方   |
|---|----------------------------------|--|---|
| Ⅰ | 制限する区域は適切か（条例第 2 条関係）            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校周辺（敷地周囲 100 メートル以内）</li> <li>・ 児童福祉施設周辺（敷地周囲 100 メートル以内）</li> <li>・ 住居専用地域及び田園住居地域</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校周辺及び児童福祉施設周辺旅館業法（宿泊事業に係る一般法）の規定により、学校や児童福祉施設の設置者等の意見を聴いた上で、学校等の清純な施設環境が著しく害されるおそれがあると認めるときは旅館業の許可を与えないことができるとされている区域であることを踏まえた。</li> <li>・ 住居専用地域等旅館業の施設の立地が、建築基準法により制限されている区域であることを踏まえた。</li> </ul>         |
| Ⅱ | 制限する期間は適切か（条例第 2 条関係）            | <p>【平日等を制限】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Ⅰの三つの区域のいずれも、土日祝日は営業可</li> <li>・ 学校周辺は、土日祝日に加えて、休業日（夏休み、冬休み等）も営業可</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校周辺、児童福祉施設周辺については、生活環境悪化を防止するため、児童、生徒が通学、通所する日の営業を制限すべきと考えられる。</li> <li>・ 住居専用地域等については、学校及び児童福祉施設周辺の制限期間との調整を考慮し、平日を制限することが妥当と考えられる。</li> </ul>   |
| Ⅲ | 制限解除の認定の有効期間は適切か（規則第 3 条第 2 項関係） | <p>【認定の有効期間】</p> <p>： 1 年（更新可）</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本県他制度においても、本来課される制限を例外的に除外する場合の許可等の有効期間は 1 年以内としていることを踏まえた。（例：火薬類の譲渡許可・譲受許可（許可有効期間（最大） 6 か月）、漁港での土砂の採取等許可（同 1 年）、駐車禁止場所等への駐車許可（同 1 年）等）</li> <li>・ 同様の制度を有する県の中で認定の有効期間を定めている県の有効期間が 1 年であることを踏まえた。</li> </ul> |

## 5 調査結果

【質問１】「Ⅰ 制限する区域」は、適切と思われますか。

| 回答         | 回答数  | 回答に占める割合 |
|------------|------|----------|
| ① 適切と思う。   | 80 件 | 98.8%    |
| ② 適切と思わない。 | 1 件  | 1.2%     |

【質問２】「１」の質問で「適切とは思わない。」と答えた方にお伺いします。

「適切と思わない。」と答えた理由をお答え下さい。

| 回答                | 回答数 | 回答に占める割合 |
|-------------------|-----|----------|
| ① 制限をより厳しくすべきだから。 | 1 件 | 100.0%   |
| ② 制限は緩和すべきだから。    | 0 件 | 0.0%     |

「厳しくする場合」の具体例や理由等

市町村児童福祉主管課

- ・ 児童福祉施設を管理する立場から、安全な保育を行うためには、報道等に見られるようなふるまいが起こりうる可能性を考えると、不安があるため、子どもたちの安全を第一に考えると、保育所近隣での民泊の許可は無い方がよいと思われます。

その他の意見

関係団体

- ・ コロナ禍により、宿泊業に係る状況が一変しているのが実情。
- ・ 現時点での判断材料が正直乏しいものと思われる。

【質問３】「Ⅱ 制限する期間」は、適切と思われますか。

| 回答         | 回答数  | 回答に占める割合 |
|------------|------|----------|
| ① 適切と思う。   | 77 件 | 95.1%    |
| ② 適切と思わない。 | 4 件  | 4.9%     |

【質問４】「３」の質問で「適切とは思わない。」と答えた方にお伺いします。

「適切と思わない。」と答えた理由をお答え下さい。

| 回答                | 回答数 | 回答に占める割合 |
|-------------------|-----|----------|
| ① 制限をより厳しくすべきだから。 | 3 件 | 75.0%    |
| ② 制限は緩和すべきだから。    | 1 件 | 25.0%    |

「厳しくする場合」の具体例や理由等

**市町村教育委員会事務局**

- ・ 夏休み、冬休み等の長期休暇中でも学校プールの解放や学校図書館利用により児童生徒の出入りがあるため。

**市町村児童福祉主管課**

- ・ 児童福祉施設を管理する立場から、安全な保育を行うためには、報道等に見られるようなふるまいが起こりうる可能性を考えると、不安があるため、子どもたちの安全を第一に考えると、保育所近隣での民泊の許可は無い方がよいと思われます。  
上記理由により、土日祝においても、許可しない方向がよいと考えます。

**市町村環境主管課**

- ・ 児童福祉施設等は土曜日にも開所しているところもあるため、土曜日にも制限すべき。

「緩和すべき場合」の具体例や理由等

**住宅宿泊事業者**

- ・ 住居専用地域の場合、地域の人との交流（サロンや行事への参加等）ができるので曜日の制限はない方がよい。
- ・ 住居専用地域の場合、感染地域からやむを得ない理由で帰省する際、高齢者がいる実家への宿泊を避けたい時に、土曜日と祝日の前日だけでは対応しづらい。

その他の意見

**関係団体**

- ・ コロナ禍により、宿泊業に係る状況が一変しているのが実情。
- ・ 現時点での判断材料が正直乏しいものと思われる。

【質問５】「Ⅲ 制限解除の有効期間」（１年）は、適切と思われますか。

| 回答         | 回答数  | 回答に占める割合 |
|------------|------|----------|
| ① 適切と思う。   | 79 件 | 97.5%    |
| ② 適切と思わない。 | 2 件  | 2.5%     |

【質問６】「５」の質問で「適切とは思わない。」と答えた方にお伺いします。

「適切と思わない。」と答えた理由をお答え下さい。

| 回答               | 回答数 | 回答に占める割合 |
|------------------|-----|----------|
| ① 有効期間を短くすべきだから。 | 1 件 | 50.0%    |
| ② 有効期間を長くすべきだから。 | 1 件 | 50.0%    |

「短くする場合」の具体例や理由等

市町村児童福祉主管課

- ・ 児童福祉施設を管理する立場から、安全な保育を行うためには、報道等に見られるようなふるまいが起こりうる可能性を考えると、不安があるため、子どもたちの安全を第一に考えると、保育所近隣での民泊の許可は無い方がよいと思われます。  
上記理由により、期間設定を設けるべきではないと考えます。

「長くすべき場合」の具体例や理由等

住宅宿泊事業者

- ・ 都市部と地方では、地域の変化が（スピード等）違うと考える。
- ・ 有効期間の１年は早すぎると思う。

その他の意見

関係団体

- ・ コロナ禍により、宿泊業に係る状況が一変しているのが実情。
- ・ 現時点での判断材料が正直乏しいものと思われる。

## 【質問 7】 自由記載

### 関係団体

- ・ 昨今の新型コロナ感染症により、旅館・ホテル業に求められる事柄は益々厳しい物となり、各種感染症等への対策、災害時等の施設利用等、お客様以外にも地域対応等も重要となって来ている。
- ・ コロナ禍の状況を踏まえ、長期的にも衛生環境への細やかな対応等が最重要であり、我々宿泊に携わる者は感染防止対策等、日々の行動が大切であると感じている。

### 市町村教育委員会事務局

- ・ 営業活動（営利目的）である場合に、宿泊者に関して事前に身分等を把握することは、学校周辺の当該事業者には一定の制限は必要と思われる。ただし、市・県外等の学校における研修活動等で宿泊させる場合などは、身分や目的が十分に把握可能であることから、教育活動を妨げることにならないような配慮も必要と思われる。
- （電話連絡： 宿泊者に関して事前に身分等の把握による一定の制限は必要であるが、教育活動（修学旅行等）の妨げにならないようにして欲しいとの意味。）

### 市町村児童福祉主管課

- ・ 国内外から多くの方が来てくれることは嬉しいし歓迎いたしますが、特に外国の方のふるまいを見ると、報道等が全てとは思いませんが、保育施設等の近隣での民泊は難しいと思われます。

### 市町村環境主管課

- ・ 都市部と地方では、それぞれ住宅宿泊の意味が違っていると感じられる。それぞれ分けて考えてもいいかと思います。

### 住宅宿泊事業者

- ・ 開業はしたものの、新型コロナウイルス感染症の流行により宿泊は受け入れておりません。感染状況をみながら、当面は国内の方のみ対象と考えていることもあり制限緩和を希望します。

【参考】住宅宿泊事業法施行条例に係る意見照会等について（回答票抜粋）

## 回 答 票

以下の各質問について、該当する答えの「□」に、「☑」又は「■」を記入して下さい。

1 「Ⅰ 制限する区域」は、適切と思われますか。

☐ 適切と思う。 ☐ 適切と思わない。

2 「1」の質問で「適切とは思わない。」と答えた方にお伺いします。

「適切と思わない。」と答えた理由をお答え下さい。

☐ 制限をより厳しくすべきだから。 ☐ 制限は緩和すべきだから。

「厳しくする場合」や「緩和すべき場合」の具体例や理由等を以下に記載下さい。

3 「Ⅱ 制限する期間」は、適切と思われますか。

☐ 適切と思う。 ☐ 適切と思わない。

4 「3」の質問で「適切とは思わない。」と答えた方にお伺いします。

「適切と思わない。」と答えた理由をお答え下さい。

☐ 制限をより厳しくすべきだから。 ☐ 制限は緩和すべきだから。

「厳しくする場合」や「緩和すべき場合」の具体例や理由等を以下に記載下さい。

5 「Ⅲ 制限解除の有効期間」（1年）は、適切と思われますか。

☐ 適切と思う。 ☐ 適切と思わない。

6 「5」の質問で「適切とは思わない。」と答えた方にお伺いします。

「適切と思わない。」と答えた理由をお答え下さい。

☐ 有効期間を短くすべきだから。 ☐ 有効期間を長くすべきだから。

「短くする場合」や「長くすべき場合」の具体例や理由等を以下に記載下さい。

7 その他ご意見等があればお聞かせください（自由記載）